

9月市議会で認定された市の平成21年度普通会計（*）決算を紹介します。市の収入や支出状況、貯金や借金などを家計簿に当てはめました。決算では、みなさんが納めた税金や国・県から入ったお金がどのように使われたか、市の財政事情をすることができます。

【関連記事1ページ】

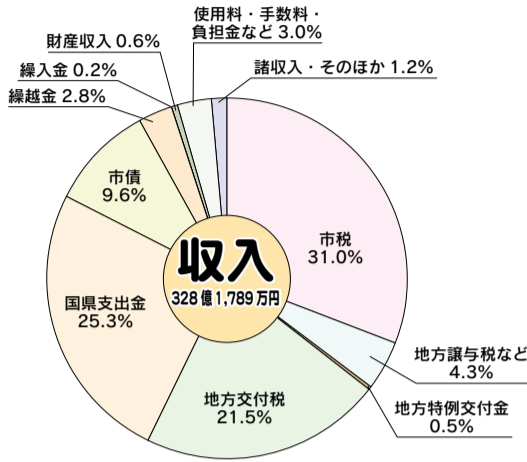
■問い合わせ先 財政課財政係 ☎(36)1104

* 普通会計 地方公共団体の財政比較のため、すべての地方公共団体に統一して用いられる会計区分で、市では一般会計と2つの特別会計（住宅新築資金等貸付事業特別会計、赤間駅北口整備事業特別会計）を合わせたものです

平成21年度 決算



歳入総額
328億1,789万円



●市税（給料）
収入総額の約31・0パーセントを占め、家庭の最も重要な収入の「給料」に当たります。前年度に比べ2億6687万円減の101億8105万円となっており、これは、景気後退による市民税の減が主な要因です。

普通会計の収入の総額は、328億1789万円、前年度に比べ21億1909万円、6・9パーセントの増となっています。主な原因としては、家庭の「実家からの仕送り」に当たる地方交付税や国県支出金の増などが挙げられます。

●市債（ローンの借り入れ）
市が銀行や市民のみならず、民間のみなさんから借り入れる市債は、家庭では「ローンの借り入れ」に当たります。前年度に比べ9年度に比べ9

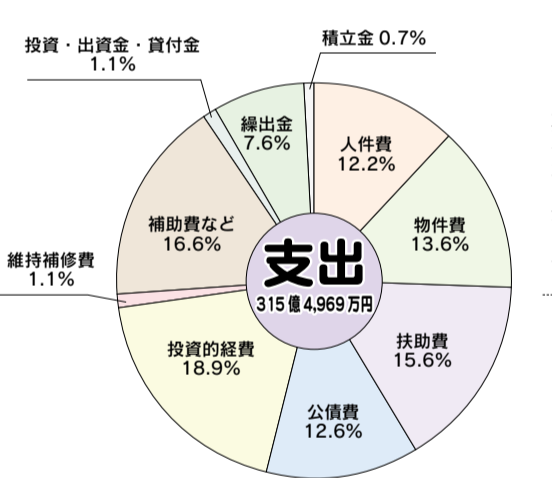
●地方交付税・国県支出金（実家からの仕送り）
国や県から得られる収入で、家庭では「実家からの仕送り」に当たります。地方交付税は収入総額の21・5パーセント、国県支出金は25・3パーセントを占め、市の重要な収入の一つとなっています。国県支出金は、田熊石畑遺跡整備事業の補助金の増などによって、25億8826万円（45・3パーセント）の増となっています。

●収入(普通会計)

家庭での収入項目	市での収入項目	20年度		21年度	
		市の収入金額	占める割合(%)	市の収入金額	占める割合(%)
給料	市税	104億4,792万円	34.0	101億8,105万円	31.0
	地方譲与税など	14億8,503万円	4.9	14億2,703万円	4.3
実家からの仕送り	地方特例交付金	1億4,618万円	0.5	1億4,619万円	0.5
	地方交付税	69億8,037万円	22.7	70億6,919万円	21.5
	国県支出金	57億1,465万円	18.6	83億291万円	25.3
ローンの借り入れ	市債	32億4,600万円	10.6	31億5,300万円	9.6
前年の残金	繰越金	8億9,152万円	2.9	9億1,443万円	2.8
預金の引き出し	繰入金	2,413万円	0.1	5,329万円	0.2
土地の売却など	財産収入	3億7,852万円	1.2	1億9,287万円	0.6
パートや家賃収入など	使用料・手数料・負担金など	9億5,412万円	3.1	9億8,238万円	3.0
雑収入	諸収入・その他	4億3,036万円	1.4	3億9,555万円	1.2
	合計	306億9,880万円	100.0	328億1,789万円	100.0

300万円（2・9パーセント）の減となっています。合併後のまちづくりのための財源として合併特例事業債で15億9940万円を借り入れました。

●使用料・手数料・負担金（パートや家賃収入など）
家庭では「パートや家賃収入」に当たります。前年度に比べ2826万円（3・0パーセント）の増となっています。これは、「家の増改築など」に当たる赤間駅北口駐車場の使用開始に伴う使用料の増が主な要因です。



●人件費（食費）
市職員の給料や議員の報酬などにかかるお金のことで、家庭では「食費」に当たります。前年度に比べ1億1693万円（3・0パーセント）の減となっています。これは、職員数の減による一般職給の減や議

普通会計の支出の総額は、315億4969万円、前年度に比べ17億6532万円（5・9パーセント）の増となっています。家庭の主な要因としては、家庭の「家の増改築など」に当たる投資的経費の増、「子どもへの仕送り、町内会費、友人への援助金など」に当たる補助費等の増などが挙げられます。

●投資的経費（家の増改築など）
道路や橋、公園、学校などの整備や、災害で被害を受けた施設などを復旧するためにかかるお金のことで、家庭では「家の増改築など」に当たります。前年度に比べ8億2871万円（16・2パーセント）の増となっています。



歳出総額
315億4,969万円

●支出(普通会計)

家庭での支出項目	市での支出項目	20年度		21年度	
		市の支出金額	占める割合(%)	市の支出金額	占める割合(%)
食費	人件費	39億6,480万円	13.3	38億4,787万円	12.2
生活雑費	物件費	40億4,016万円	13.6	43億151万円	13.6
医療費	扶助費	46億8,316万円	15.7	49億351万円	15.6
ローンの返済	公債費	40億1,637万円	13.5	39億7,451万円	12.6
家の増改築など	投資的経費	51億2,586万円	17.2	59億5,457万円	18.9
家の修繕など	維持補修費	2億8,064万円	1.0	3億5,095万円	1.1
	補助費など	48億572万円	16.1	52億1,986万円	16.6
子どもへの仕送り、町内会費、友人への援助金など	投資・出資金・貸付金	3億739万円	1.0	3億5,665万円	1.1
預金	繰越金	23億2,790万円	7.8	24億724万円	7.6
	積立金	2億3,237万円	0.8	2億3,302万円	0.7
	合計	297億8,437万円	100.0	315億4,969万円	100.0

市が特定の目的のために交付するお金のことで、家庭では「子どもへの仕送り、町内会費、友人への援助金など」に当たります。前年度に比べ4億1414万円（8・6パーセント）の増となっています。これは、定額給付金事業の事業費が増加したことが主な要因です。

●補助費など（子どもへの仕送り、町内会費、友人への援助金など）
市が特定目的のために交付するお金のことで、家庭では「子どもへの仕送り、町内会費、友人への援助金など」に当たります。前年度に比べ4億1414万円（8・6パーセント）の増となっています。これは、定額給付金事業の事業費が増加したことが主な要因です。

員定数の減による報酬の減などが主な要因です。

●公債費（ローンの返済）
市が事業を実施するために借り入れた市債の返済にかかるお金（元金、利子）のことで、家庭では「ローンの返済」に当たります。前年度に比べ4186万円（1・0パーセント）の減となっています。これは、過去に実施した繰上償還の効果によるものが主な要因です。

★2011' NEW薄型非球面メガネセット★

高品質 3点セット
¥4,800より

11/30までに限り

glass
めがね工房
中代

高品質 汚れ・キズに強い
超撥水UVレンズ付

電話 33-7738 (福岡銀行・赤間支店となり)
宗像市土六二丁目1-17 / P福銀うら兼用へ20台有り

解体工事から産廃リサイクルまで!

建物解体

お子さん・お孫さんに
砂遊びの土・砂
ご相談ください。
詳しくはHPを!

田中土木工業(株) リサイクルセンター
宗像市東郷3丁目6番2号 宗像市石丸字羽廣148番2
☎36-5187 ☎35-3522

http://www.tanakadoboku.jp E-mail info@tanakadoboku.jp